

令和3年度事業報告書

はじめに

乳用牛の飼養頭数は4年連続して増加し、全国の生乳生産量も3年連続で前年を上回りましたが、乳用牛飼養戸数は減少傾向が続きました。

令和2年から続く新型コロナウイルス感染症の感染拡大による生乳需給の大幅な緩和により、バター・脱脂粉乳の国内生産量及び在庫量が増加し、乳製品の輸入に大きな影響を与えました。

TPP11、日EU・EPA、日米貿易協定が発効された新たな国際環境の下で、酪農の生産基盤の強化、特に都道府県の家族経営酪農の体質強化・経営安定対策とともに乳製品の品質向上、ブランド化など国産乳製品の競争力強化、輸出促進等の幅広い施策が進められました。このような中で、令和3年3月16日開催の第27回理事会で承認された事業計画に沿って、また、新型コロナウイルス感染予防と業務継続・サービスの品質確保を両立させるため、対面での実施に代える方策を工夫しつつ事業を実施しました。

乳・乳製品にこだわった試験検査機関として引き継がれ培われてきた技術やノウハウ等を最大限に活かしつつ、食品衛生法に基づく登録検査機関、ISO/IEC17025 認定試験所として、新たな分野も含めてより一層の研鑽を積んで、信頼の確保に努めました。

国際環境の変化等乳製品をめぐる状況の変化に対応するため、業務の合理化・効率化、新たな業務への取り組み等を進めてきた中、コロナ禍の影響は想定以上に大きく、業務量の大幅な減少等により協会の運営は大変厳しいものとなりましたが、酪農乳業界みなさまの試験検査機関としての役割を果たせるように努めました。

各事業の概要は、以下のとおりです。

〔公益目的事業〕

1 法令に基づく検査・認定

(1) 食品衛生法に基づく試験検査

食品衛生法に基づく登録検査機関として、輸入乳製品の食品衛生関連法令に基づく試験検査を実施しました。

- ・輸入乳製品の自主検査（脱脂粉乳、バター、ホエイパウダー等）
77 検体 （2 年度 89 検体、元年度 111 検体、30 年度 111 検体）

(2)HACCP 支援法に関する認定

食品の製造過程の管理の高度化に関する臨時措置法（HACCP 支援法）に基づく指定認定機関として、日本政策金融公庫による支援措置の要件となる高度化計画及び高度化基盤整備計画の認定、情報提供、相談受付等を実施し、乳業者及び6次産業化に取り組む酪農家の HACCP 導入を支援しました。改正食品衛生法に基づく HACCP 制度化が施行されたことに伴い、乳業団体が開催する小規模事業者向け手引書についての研修会のテキスト作成、講師として参画しました。

また、農林水産物及び食品の輸出促進に関する法律（輸出新法）の HACCP 支援法みなし規定による輸出事業計画の認定プロセスへの協力を行いました。

- ・高度化計画の認定：0 件
- ・高度化基盤整備計画の認定：0 件（2 年度 0 件、元年度 1 件、30 年度 0 件）
- ・相談対応：HACCP の考え方、取り組み方策等の質問、相談を受けましたが、計画認定につながる相談はありませんでした。

(3)指定乳製品等検査

食品衛生法に基づく登録検査機関として、畜産物の価格安定等に関する法律施行規則等に基づき、輸入乳製品の品質検査を実施しました。引き続き、コロナ感染予防対策を徹底し、可能な限り依頼者の要請に的確にお応えして実施しました。国内の生乳需給の緩和により、輸入量はカレントアクセス分のみとなり、検体数は大幅に減少しました。

単位：検体

種類	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
バター	1,762	2,656	3,517	2,691
脱脂粉乳	62	226	938	1,934
ホエイ及び調製ホエイ	319	340	375	587
デイリースプレッド	0	0	0	8
バターオイル	51	47	37	38
加糖練乳	0	0	0	0
計	2,194	3,269	4,867	5,258

2 依頼による試験・調査

(1)依頼による食品等の理化学的、微生物学的試験

食品衛生法に基づく登録検査機関、ISO/IEC17025 認定試験所として、試験を受託して実施しました。

- ・受託品目：飲用乳、アイスクリーム類、調製粉乳、発酵乳、練乳、チーズ、脱脂粉乳、飼料用粉乳、その他食品等
- ・試験項目：理化学
 - 乳脂肪分、無脂乳固形分、たんぱく質、灰分、放射能、金属（Na、Ca）、溶解度、スコーチドパーティクル等
 - 微生物
 - 細菌数、大腸菌群、耐熱性菌数、リステリア、高温菌数等
- ・検体数：2,479 検体
 - （2年度：2,484 検体、元年度：3,220 検体、30年度：2,833 検体）
 - うち、放射能検査：253 検体
 - （2年度：271 検体、元年度：390 検体、30年度：489 検体）

(2)依頼による調査

① 全国飲用牛乳公正取引協議会の依頼による調査

全国飲用牛乳公正取引協議会の依頼を受け、全国飲用牛乳公正取引協議会製品等検査規程に基づき市販品成分検査と認定検査機関実務調査を実施しました。市販品成分検査（乳飲料を除く）については試験結果の判定まで実施し、定期成分検査（受託数は2の(1)の内数：155 検体）については合否判定まで実施しました。

市販品成分検査

単位：検体

種類	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
牛乳	218	189	198	193
加工乳	12	22	18	27
乳飲料	162	177	152	183
成分調整牛乳他	32	29	42	38
計	424	417	410	441

認定検査機関実務調査については、新型コロナウイルス感染予防の観点から、書面による調査にも対応しました。

- ・認定検査機関の実務調査：24 施設（うち新規0 施設）うち 19 施設は書面調査
（2年度：27 施設、元年度：30 施設、30年度：29 施設）

② 生乳と乳製品の競争力強化支援事業のうち

6次化乳製品の衛生管理支援事業

公益財団法人全国競馬・畜産振興会助成(令和3～5年度)

6次化乳製品の製造・販売により経営安定を目指す酪農家に、HACCPへの適切な対応や6次化乳製品の安全性、品質、信頼の向上のための技術的な支援を行いました。

衛生管理計画、HACCP プラン策定・検証のために必要な製造工程に沿った衛生検査と殺菌工程検証のための衛生検査、製品の安全性、品質安定・向上のために必要な検査を実施し、これらの結果に基づくアドバイス、研修会、情報提供等を実施しました。

学識経験者等からなる推進委員会(6月開催)における具体的な進め方等の検討後、7月に事業への参加案内を行い、10戸の酪農家を対象に、生乳の殺菌工程前後の微生物検査(120件)、工房の環境検査(10工房×2回)、衛生管理研修会(10人×2回参加)を実施しました。また、参加酪農家の乳製品80検体及び生乳20検体について成分、微生物検査等を実施し、検査結果等をHACCP対応のための参考資料として取りまとめ、協会HPに掲載しました。

③ 乳及び乳製品の試験法に関する検討

国立医薬品食品衛生研究所からの受託研究(平成30年度～令和3年度)

乳及び乳製品の成分規格等に関する省令の試験法は、一部の器具が入手困難になる等実行可能性が低下しているほか、国際的整合性が確実とは言えないため、国際的に整合し、かつ実行可能性を向上させた分析法を開発し、その妥当性を確認するための検討を行う研究に参画しました。

粉乳の水分分析法構築のための分析、共同試験のための試料調整に係る検討を実施した後、共同試験を実施しました。

3 研修会の開催・講師派遣

【協会主催の研修会】

生乳や乳製品の検査を行う技術者を対象とした実技中心の研修会は、計6回感染予防対策を徹底して対面形式で開催し、参加者は合計9名(2年度6名、元年度3名)でした。研修生のご要望等により的確にお応えできるよう、講義内容、資料、実習用器材等について工夫、改善を加えながら実施しました。

生乳検査技術研修会は、5回の開催を予定しましたが、新型コロナウイルス感染症の発生状況により5月の開催は中止しました。

官能評価員育成研修会は、乳・乳製品の官能評価員能力向上・認定事業(公益財団法人全国競馬・畜産振興会助成(令和2～4年度))を活用して開催しました。基礎研修会5回、専門研修会1回の開催を予定しましたが、新型コロナウイルス感染症の発生状況により、基礎研修会2回のみ対面形式で開催し、生乳集荷担当者向け基礎研修会を、1回対面方式で、オンライン・ハイブリッド形式で11回開催しました。

開催実績

研修会の名称、内容等	期間・回数	参加者	
生乳検査技術研修会 実技:乳脂肪分、たんぱく質 乳固形分、比重、 体細胞数、抗生物質 講義等:生乳検査精度管理に 関する講義、認証制 度の説明	5月10日～12日	0人(開催中止)	
	7月12日～14日	4人	
	10月4日～6日	1人	
	1月26日～28日	1人	
	2月16日～18日	1人	
	計4回 (2年度 3回) (元年度 5回)	計7人 (2年度 6人) (元年度 29人)	
乳糖検査技術研修会 実技:レイン・エイノン法	7月5日～6日	1人	
	11月8日～9日	1人	
	計2回 (2年度 0回) (元年度 1回)	計2人 (2年度 0人) (元年度 2人)	
官能評価員育成 基礎 研修会	5月21日	0人(開催中止)	
	6月24日	1人	
	8月19日	0人(開催中止)	
	10月15日	0人(開催中止)	
	12月16日	22人	
	専門	1月25日～26日	0人(開催中止)
		計2回 (2年度 5回)	計23人 (2年度 32人)
	集荷担当者向け 基礎研修会	対面 1回	13人
		オンライン 8回	104人
		ハイブリッド 3回	14人

【乳業関係団体の依頼による研修会】

全国飲用牛乳公正取引協議会、一般社団法人日本アイスクリーム協会の依頼を受け、検査技術研修会7回(2年度7回、元年度11回)、アイスクリーム検査技術研修会1回(2年度1回、元年度2回)の合計8回実施し、参加者は合計39名(2年度15名、元年度126名)でした。

開催実績:

研修会の名称、内容等	期間・回数	参加者
全国飲用牛乳公正取引協議会 検査技術研修会 ・分析基礎コース 実技：乳脂肪分、たんぱく質、 乳固形分（全固形分） 比重、滴定酸度 講義等：精度管理に関する講義 ・細菌検査コース 実技：細菌数、大腸菌群、 低温菌数、 耐熱性菌数、体細胞数、 抗生物質 講義等：精度管理に関する講義 ・合併コース 実技：分析基礎コース、細菌検査コ ースの合併	6月14日～18日 合併コース	2人
	6月30日～7月2日 分析基礎コース 細菌検査コース	6人 2人
	9月27日～10月1日 合併コース	1人
	10月18日～22日 合併コース	3人
	10月27日～29日 分析基礎コース 細菌検査コース	5人 0人
	11月15日～19日 合併コース	6人
	11月29日～12月3日 合併コース	6人
	2月28日～3月4日 合併コース	0人 (開催中止)
	計7回 〔 2年度 7回 〕 〔 元年度 11回 〕	計31人 〔 2年度 12人 〕 〔 元年度 95人 〕
	一般社団法人日本アイスクリーム協会 アイスクリーム検査技術研修会 ・理化学コース 実技：乳脂肪分、たんぱく質、 全固形分 ・微生物コース 実技：細菌数、大腸菌群 黄色ブドウ球菌、抗生物質	12月13日～15日 理化学コース 微生物コース
2月7日～9日 理化学コース 微生物コース		(開催中止) 0人 0人
計1回 〔 2年度 1回 〕 〔 元年度 2回 〕		計8人 〔 2年度 3人 〕 〔 元年度 15人 〕

【講師派遣】

乳業団体等の依頼を受け、のべ5名(2年度 4名、元年度 29名)の講師等を派遣しました。

派遣実績

研修会の主催者、内容等	期間	場所
一般社団法人 日本乳業協会 HACCP 実務者講習会	3月28日 3月29日	東京都
一般財団法人蔵王酪農センター 国産ナチュラルチーズ製造技術(専門・基礎)研修会 「安全なチーズを生産していただくために」	5月11日 11月29日 1月18日	宮城県 蔵王町

全国農協乳業協会の依頼を受け、「乳業製造技術通信教育」の「牛乳・乳製品検査法」の講師を担当し、テキストの改訂、レポートの課題作成、添削、採点等を行いました。

4 研究・技術・調査情報の提供等

(1)乳業技術誌の刊行

Vol.70 2020「創立 70 周年記念号」を刊行し、関係行政機関、酪農乳業団体・企業、関係大学他約 200 施設に配布しました。

編集委員(◎編集委員長)

- ◎松田 幹 福島大学 農学群 食農学類 教授
- 上門 英明 株式会社明治 研究本部 品質科学研究所長
- 斎藤 忠夫 東北大学 名誉教授
- 小林 敏也 雪印メグミルク株式会社 執行役員 ミルクサイエンス研究所長
- 武田 安弘 森永乳業株式会社 執行役員 研究本部副本部長
- 服部 博幸 協同乳業株式会社 研究所長
- 藤川 浩 東京農工大学 名誉教授
- 栗本 まさ子 公益財団法人日本乳業技術協会 代表理事

特別寄稿

- ① 長期的・国際的な視点から酪農・乳業を考える
(生源寺眞一 福島大学食農学類)
- ② 最近 20 年間の酪農科学研究の国内外での進展と将来
(斎藤忠夫 東北大学大学院農学研究科)
- ③ 乳の加熱処理と「おいしさ」
(神谷哲 株式会社明治研究本部)
- ④ 牛乳の機能性タンパク質素材の分離技術
(山本圭介 森永乳業株式会社研究本部素材応用研究所)

- ⑤ 乳酸菌と体脂肪低減作用(ガセリ菌 SP 株の例を中心に)
(浮辺健 雪印メグミルク株式会社ミルクサイエンス研究所)
- ⑥ 腸内細菌叢の代謝制御型ヨーグルトの開発とその機能
(松本光晴 協同乳業株式会社研究所技術開発グループ)

乳技協だより

- ① 生乳検査の精度管理の取り組みについて(高畑菜穂子、吉田剛)
- ② 6次産業化に取り組む酪農家のための事業の概要(佐々木進、大嶋秀克)
- ③ 水分(固形分)分析に用いる常圧乾燥法における蓋使用の影響(岩崎司)
- ④ 検査技術研修会での質問から(山口千里)
- ⑤ 公益財団法人日本乳業技術協会のあゆみ -時代の変遷とともに-

Vol.71 2021 の編集について、編集委員会における検討を経て原稿の執筆を依頼しました。

(2)全国集乳路線別生乳成分調査

全国の生乳成分(乳脂肪分(F)、無脂乳固形分(SNF))の調査を昭和 50 年以降継続して実施しており、乳業各社のご協力を得て「全国集乳路線別生乳成分調査第 47 報」を取りまとめ、協会HPに公表しました。

一般社団法人家畜改良事業団のデータベース「全国版畜産クラウド」に掲載するため、引き続きデータを提供しました。

令和 3 年 1 月～12 月の調査延べ路線数は、工場到着ローリー乳で 7,771(令和 2 年 7,792、令和元年 7,933)、全生乳生産量(1日あたり)に対する調査対象乳量のカバー率は 40.7% (令和 2 年 41.0%、令和元年 41.6%)でした。

協力会社名 (50 音順)

協同乳業株式会社

グリコマニュファクチャリングジャパン株式会社

信州ミルクランド株式会社

北陸酪農業協同組合連合会

株式会社明治

森永乳業株式会社

雪印メグミルク株式会社

よつ葉乳業株式会社

F, SNFの地域別平均値 単位:%

地域	F	SNF	地域	F	SNF
北海道	3.948	8.831	東海	3.826	8.796
東北	3.910	8.780	近畿	3.861	8.814
関東	3.887	8.800	中国	3.938	8.873
北陸	3.842	8.758	四国	3.932	8.842
東山	3.838	8.730	九州	3.919	8.812
			全国平均	3.938	8.827
			令和2年	3.930	8.800
			令和元年	3.927	8.791

(3)技術関連情報の提供

乳・乳製品の試験検査の手技・手法、品質管理や表示のための試験法、分析値の活用法等に関する乳業者、乳業団体、公的機関の試験検査担当者、6次産業化に取り組む酪農家、流通業者等からの幅広い問い合わせに対応しました。

協会HPに、生乳検査精度管理に関する情報、試験検査に関連する情報、オンラインで実施した講演の動画等を掲載しました。

(4)関係機関、関係団体との連携

関係機関、関係団体の会議、委員会等に出席(リモート、書面を含む。)し、情報の収集や意見交換等を行いました。

団体等	会合名、内容等
全国飲用牛乳公正取引協議会	常任委員会、専門部会、専門小委員会
(一社)日本乳業協会	定時社員総会、HACCP検討小委員会
(一社)日本乳容器・機器協会	定時社員総会、理事会
(一社)食品衛生登録検査機関協会	通常総会
チーズ公正取引協議会	総会、常任委員会、技術小委員会
(公社)畜産技術協会	総会、理事会、監事監査
(公社)中央畜産会	定時総会
東京飲用牛乳協会	品質改善委員会
関東生乳販売農業協同組合連合会	生乳品質改善共励会(代表理事賞)
(一社)中央酪農会議	第13回ALL JAPANナチュラルチーズコンテスト表彰式(後援)
(一財)蔵王酪農センター	事業推進委員会
全国農協乳業協会	「乳業製造技術者通信教育」講師検討会議
(一社)Jミルク	臨時総会、国際委員会、安全性確保品質向上委員会
(一社)日本チーズ協会	日本チーズ認証基準策定普及事業に係る実行委員会

(5)研究成果の発表

乳製品の水分定量法である常圧乾燥法の放冷中の秤量皿の蓋の必要性について、検査技術研修会等で質問を受けることが多いため、検証を行い、「水分(固形分)分析に用いる常圧乾燥法における蓋使用の影響」として結果を乳業技術誌に掲載しました。

5 生乳検査精度管理

生乳検査精度を高い水準で維持することの重要性に鑑み、引き続き、測定機器校正のための試料乳(乳成分用、体細胞数用)の配布、生乳検査外部精度管理調査(技能試験)及び生乳検査精度管理認証制度の業務を実施しました。

(1)測定機器校正のための試料乳の配布

乳成分用試料乳配布数 2,719 セット

(2年度 2,756 セット、元年度 2,774 セット、30年度 2,752 セット)

体細胞数用試料乳配布数 397 セット

(2年度 406 セット、元年度 369 セット、30年度 358 セット)

配布に併せ、キャリブレーション参考資料を協会 HP に(毎月)掲載しました。

(2)生乳検査外部精度管理調査

参加施設:107 施設 (2年度 109 施設、元年度 110 施設、30年度:109 施設)

参加施設名を協会 HP に掲載して公表するとともに、「参加証」を引き続き発行しました。

(3)生乳検査精度管理認証制度

生乳と乳製品の競争力強化支援事業の生乳検査精度管理認証制度事業(全国競馬・畜産振興会助成(令和 3~5 年度))を活用して次のように実施しました。

- ・ 認証申請施設の書類調査・現地調査を、新規3、更新13施設について実施し、生乳検査精度管理認証特別委員会(9月、3月)の審議・答申を受けて、10月1日付けで3施設(新規2、更新1)を認証(13施設(新規1、更新12)は次年度認証)。
- ・ 生乳検査精度管理委員会を书面開催(2~3月)し、生乳検査精度管理マニュアル作成のガイドライン等の内容の見直しについて審議。
- ・ 生乳検査技術者連絡会をオンライン開催(12月)し、生乳の風味関連の2題の講演、意見交換を実施。
- ・ 信頼性確保部門責任者研修会(2月)をオンライン開催し、認証制度の運用関連の説明を実施。

6 国際酪農連盟日本国内委員会

微生物・衛生専門小分科会(8月、1月)、分析技術・衛生専門分科会(7月、1月)、国際規格専門分科会(8月、1月)にオンラインで参画しました。

〔収益事業等〕

所有する土地建物の貸借業務を民間事業者に委託して実施し、運用益は計画を大幅に下回りましたが、公益目的事業に充当しました。

〔 報告事項 〕

1. 庶務事項

令和 3 年 4 月 6 日	令和3年度日本中央競馬会畜産振興事業実施計画の承認申請書提出(公益財団法人全国競馬・畜産振興会)
令和 3 年 4 月 9 日	令和2年度HACCP手法支援法指定認定機関高度化計画認定状況等報告書提出(厚生労働省・農林水産省)
令和 3 年 4 月 21 日	令和2年度日本中央競馬会畜産振興事業実績報告書提出(公益財団法人全国競馬・畜産振興会)
令和 3 年 4 月 22 日 ～ 23 日	公認会計士 指導・監査
令和 3 年 5 月 18 日	監事監査
令和 3 年 5 月 25 日	消費税申告(麴町税務署)
令和 3 年 5 月 31 日	消費税納付(麴町税務署) 法人税等納付(麴町税務署他) 第28回理事会
令和 3 年 6 月 16 日	第15回評議員会、第29回理事会
令和 3 年 6 月 17 日	令和2年度HACCP手法支援法指定認定機関事業報告書及び収支決算書提出(厚生労働省・農林水産省)
令和 3 年 6 月 25 日	法人税等確定申告(麴町税務署他)
令和 3 年 6 月 30 日	令和2年度事業報告書等に係る定期書類提出 (内閣府公益認定等委員会)
令和 3 年 7 月 1 日	社会保険算定基礎届完了
令和 3 年 7 月 12 日	労働保険料確定申告書提出(東京労働基準局)
令和 3 年 9 月 22 日	ISO認定試験所のサーベイランス (公益財団法人日本適合性認定協会)
令和 3 年 11 月 25 日	食品衛生法登録検査機関の定期立入検査 (厚生労働省関東信越厚生局)
令和 4 年 1 月 6 日	乳業諸団体新年賀詞交換会
令和 4 年 1 月 19 日	令和3年度日本中央競馬会畜産振興事業実施計画の承認申請書提出(公益財団法人全国競馬・畜産振興会)
令和 4 年 1 月 20 日	償却資産申告書提出(千代田都税事務所)
令和 4 年 3 月 11 日	令和4年度HACCP手法支援法指定認定機関事業計画書及び収支予算書提出(厚生労働省・農林水産省)
令和 4 年 3 月 22 日	第30回理事会
令和 4 年 3 月 30 日	令和4年度事業計画書等に係る定期書類提出 (内閣府公益認定等委員会)
令和 4 年 3 月 31 日	事業年度終了

2. 会 議

第28回 理事会(令和3年5月31日)

- 1) 令和2年度事業報告及び計算書類等の承認について
- 2) 評議員会の日時、場所及び付議すべき事項の決定について

第15回 評議員会(令和3年6月16日)

- 1) 令和2年度事業報告及び計算書類等の承認について
- 2) 評議員、監事及び理事の選任について
- 3) 令和3年度事業計画及び収支予算書等の報告

第29回 理事会(令和3年6月16日)

- 1) 役付き理事の互選について
- 2) 事業の執行状況報告

第30回 理事会(令和4年3月22日)

- 1) 令和4年度事業計画及び収支予算書等の承認について
- 2) 特定費用準備資金取崩しの件
- 3) 規程を変更する件
- 4) 事業の執行状況報告

3. 役 員

令和3年6月16日

下記の役員任期満了に関し、第15回評議員会で選任。

再任 理 事 阿久澤 良造、安部 俊朗、栗本 まさ子、
小久保 彌太郎、増田 哲也、松尾 昌一、
松田 幹

監 事 保井 久子

就任 理 事 井上 剛彦、柳田 恭彦

退任 理 事 海野 研一、草野 茂実、城端 克行

令和3年6月16日

下記の役員に関し、第29回理事会で代表理事1名を選定。

代表理事 栗本 まさ子

令和4年3月31日現在

代表理事 栗本 まさ子

業務執行理事 辻山 弥生

理 事 阿久澤 良造、安部 俊朗、井上 剛彦、小久保 彌太郎、
佐藤 雅幸、増田 哲也、松尾 昌一、松田 幹、
柳田 恭彦

監 事 佐藤 靖、保井 久子

4. 評 議 員

令和3年6月16日

下記の評議員の任期満了に関し、第15回評議員会で選任。

再任 評議員 五十君 静信、浦島 匡、齋藤 忠夫、酒井 健夫、
迫田 潔、島崎 敬一、清水 誠、畑江 敬子

就任 評議員 荒川 宏行、大貫 陽一、桑崎 俊昭、水町 功子

退任 評議員 鈴木 千セ、前田 浩史、南 俊作、宮原 道夫

令和4年3月31日現在

荒川 宏行、五十君 静信、浦島 匡、大貫 陽一、桑崎 俊昭、
小菅 英夫、後藤 正純、齋藤 忠夫、酒井 健夫、坂口 光一、
迫田 潔、島崎 敬一、清水 誠、西尾 啓治、畑江 敬子、
松田 克也、三浦 晃一、水町 功子

5. 職員等の異動

期首人員	21 名
採用者	0 名
退職者	1 名
期末人員	20 名

令和3年度事業報告 附属明細書

令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和4年5月

公益財団法人日本乳業技術協会